



看護部通信

2022年 12月

早いもので12月となりました。今年もコロナ感染症に翻弄されながらの1年でしたが、残すところ1か月となりました。暦の上では「師走」と呼ばれているように、忙しく動き回る月とされています。毎日、忙しい日々が続きますが、良い年を迎えるために心身ともにゆとりを持って、休息を取りながら体調管理をしていきましょう。

<看護師長会>

伝統工芸について 4病棟 T・H

私は、先日開催された秋田工芸エキスポに行ってきました。

そこでは、日本の伝統工芸品の展示や実演、体験が行われていました。

私は錫板の彫刻体験をしました。鑿（たがね）という工具と金槌を使用し、錫板に貼り付けた型紙の上から線に沿って鑿を金槌で叩くのですが叩く力が強いと板が反り返り、弱いと模様が見つからないので力加減が難しかったです。

錫板は手で簡単に曲げて形を変える事ができます。アクセサリーやお菓子や料理を置いたり、色々な使い道があるそうです。

現代は壊れたらすぐに買い替えることができる時代ですが昔の人々は修理しながら良いものを長く使用し、経年劣化も楽しんでいたんだと感じ、日本の伝統工芸の良さを改めて感じました。また、普段なかなかできない体験と日本の伝統工芸について知る良い機会となりました。

芸術の秋に触れた1日となりました。



先人の技に触れ、素晴らしいと感じたように、私たちも次世代に繋げたいですね

新たな一歩へ 4病棟 T・R

この度、11月の異動に伴い、4病棟へ配属され、勤務することとなりました。

遠い、遠い記憶をたどれば、リハセン開設当初は外来勤務、結婚出産を経て4病棟勤務、第2子出産後は6病棟へ勤務。その後は精神科に17年ほど勤務しながら、リハセンと共に歩んできました。精神科でお世話になったスタッフには暖かく背中を押して頂き、感謝感激でいっぱいです。

久しぶりの4病棟勤務にあたり、あの当時は、〇〇師長さんや□□さん達と一緒に勤務したなあ、学会にも行かせてもらったなあなど、思い出がぼろぼろ。不安と期待でパンパンになりながら日々、奮闘中です。

日本には四季があり、秋から冬、冬から春へ移ろうように、自然体で新しい職場の色に染まっていけたらと思っています。



沢山のひととの出会いと思い出に感謝ですね。これからの新たな出会いが、笑顔であふれる素晴らしい思い出になるといいですね。